

# A-14 亀山城

対象学年・教科

小学校6年社会科

小学校3年以上総合的な学習の時間

「勢州亀山惣絵図」と  
現在の町の様子の比較（画像パネル）

〔850×600〕



「勢州亀山惣絵図」は、松平乗邑が宝永7年(1710)に鳥羽から亀山に所替になった時の城の受け渡しに関係して作成されたものと考えられます。このパネルは、この絵図に現在の道や公共施設・寺院や神社を重ねたものです。水色の線が現在の道にあたります。青字は現在の公共施設と今もある寺院、赤字は多門櫓と今はありませんが絵図に書き込まれている寺院・神社です。



三重櫓と番所長屋

〔写真287×336〕

〔絵図パネル255×397〕



大手脇櫓と大手門

〔写真285×330〕

〔絵図パネル285×507〕



京口門と京口坂

〔写真343×285〕

〔絵図パネル283×410〕



二之丸御殿

〔写真283×315〕

〔絵図パネル285×410〕



亀山城古写真（4枚）とその場所の絵図（4枚）

明治5年(1872)頃、亀山城の建物を取り壊す前に、城内の主要な建造物を撮影したものです。その場所を、絵図パネルを使って確認することができます。



## 亀山城曲輪パズル

[900×1200(900×600が2枚)]

城は曲輪（区画）の集合体です。このパズルで、亀山城が五つの曲輪でできていたことがわかります。パズルのベースになっている城絵図は、寛永13年(1636)から数年かけて亀山城の拡張工事をした城主本田俊次が、幕府に提出した正保絵図です。